

## 研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

棘下筋回転移行術症例における肩関節運動構成要素の変化の検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2017年1月1日から2023年12月31日までに昭和医科大学藤が丘病院整形外科で腱板修復術（棘下筋回転移行術）の手術を行い、昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院でリハビリテーションを実施した患者さん

### 2. 研究目的・方法

腱板断裂に対する手術の一つである棘下筋回転移行術は単純な腱板修復術が困難な患者さんに行われる手術です。そして肩の可動域や筋力などの日常生活に必要な機能の回復に関して良好な成績が報告されています。手術後の機能の回復の過程で腕を下垂した状態での外旋可動域や外旋筋力の改善が得られにくく、代償的に小円筋という筋肉の肥大や三角筋の後部繊維の筋肉の厚さが増加しやすいと言われています。このような肩関節の構造的な変化から、棘下筋回転移行術を行った患者さんでは手術しなかった側の肩関節と比べて肩関節を挙上する際の様々な関節（胸鎖関節、肩鎖関節、肩甲胸郭関節、肩甲上腕関節）の関係性に変化が生じる可能性があります。しかしその関係性の変化について検討した報告はありません。

そこで本研究の目的は棘下筋回転移行術を施行した患者さんの肩関節運動の関係性の変化を明らかにすることとしました。

方法は通常診療で得られた単純X線（レントゲン）撮影（T-view撮影法というバンザイをした際に撮影する方法およびScapula-45撮影法という腕を45°挙げた姿勢で撮影する方法）を使用し、後に記載する「4. 研究に用いる試料・情報の種類」の項目を診療録から調査し、肩挙上に関する各関節の関係性の変化について検討します。

### 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027年 12月 31日まで

**3. 研究に用いる試料・情報の種類**

- ・患者さんの背景因子

性別、年齢、身長、体重、職業

- ・医学的情報

診断名、手術日、手術側、術式、断裂した腱の種類、術前・術後の日本整形外科学会肩関節疾患治療成績判定基準（JOA）、アメリカ肩肘学会の肩関節評価指標（American Shoulder and Elbow Surgeons shoulder index: ASES）、腱板の脂肪浸潤度合い（Goutallier 分類）

- ・理学所見

肩関節可動域、筋力

- ・画像所見

T-view 撮影像より上位胸郭運動量、鎖骨挙上角、鎖骨と関節窩のなす角、関節窩の上方回旋角、関節窩に対する上腕骨外転角、上腕骨外転角

Scapula-45 撮影像より上腕骨頭と関節窩の位置関係を示す「Cuff index」、関節窩の重力方向に対する角度を示す「Scapula index」

**4. 外部への試料・情報の提供**

該当いたしません

**6. 研究組織**

研究責任者	所属 昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法専攻	氏名 古山 駿平
研究分担者	所属 昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法専攻	氏名 高橋 知之
研究分担者	所属 昭和医科大学スポーツ運動科学研究所	氏名 田村 将希
研究分担者	所属 昭和医科大学保健医療学部	氏名 西中 直也

**7. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法専攻

氏名：古山 駿平

住所：〒226-8555

神奈川県横浜市緑区十日市場町 1865

電話番号：090-5410-7179